



鹿子木孟郎《紀州勝浦》明治43年(1910) キャンヴァス、油彩

2017

4/4[火]→6/25[日]

明治150年

# 静岡県美の明治洋画

平成29年(2017)は、明治改元(1868)から起算して150年目にあたる節目の年。明治の年数で数えれば「明治150年」ということとなります。

明治維新という日本史上まれに見る大変動は、政治、経済、外交、科学技術といった国民生活のあらゆる領域に根本的な変化をもたらしました。もちろん、文化や芸術もその例外ではありません。

今回の収蔵品展は、当館の日本洋画コレクションのなかから明治時代に描かれた作品を中心に紹介するものです。大正から昭和期の作品が数多い当館洋画コレクションではありますが、明治洋画にもまた個性的な作品が揃っています。変革期の作品が持つ独特の香りを味わっていただければと思います。

## フロアレクチャーのご案内

当館学芸員が展示室で作品について解説します。

4月8日(土) 14:00~

## ギャラリーツアーのご案内

当館ボランティアが対話形式で展示室の作品をご案内します。  
(各回30分程度)

4月15日(土) 13:30~

5月6日(土)、20日(土)、6月3日(土)、17日(土)

いずれも13:30~、14:30~

\*13:30~の回はロダン館、

14:30~の回は第7展示室の作品についてご紹介します。

\*集合場所: 第7室については収蔵品展入口、  
ロダン館については同入口。申込不要。



徳川慶喜《風景》明治初期(1868-77頃) 紙、油彩